

平成 30 年度群馬県中学校春季バレーボール大会 申し合わせ事項

1. 組み合わせ抽選等について

- (1) 県新人大会の 1 位から 4 位を学校シードとし、それぞれ第 1 シードから第 4 シードの位置にシードされる。
- (2) 県新人大会の 5 位から 8 位を地区シードとし、それぞれ第 5 シードから第 8 シードの位置にシードされる。学校シードではないので、地区大会の成績を優先する。
- (3) 同地区から 2 チーム以上出場している場合は、決勝まで対戦しない（1 / 2 ゾーン）ように、抽選時に配慮される。3 チーム以上出場している場合は、準決勝まで対戦しない（1 / 4 ゾーン）ように、抽選時に配慮される。5 チーム以上出場している場合は、1 回戦では対戦しないように、抽選時に配慮される。
【注】新人大会の結果により、学校シードと地域シードの位置は決定するので上記のようにならないこともある。
- (4) シード校の位置が決まったら、各地区の 1 位扱いチームの抽選を先に行い、その後は原則として、出場チーム数が多く、条件が限られる地区から抽選をして、組合せを作成していく。

2. チーム構成について

- (1) チームは、監督 1 名・コーチ 1 名・マネージャー 1 名（生徒）・選手登録 15 名（出場できるのは 12 名、リベロプレーヤーを含む。）・学校職員は 1 名とする。
 - ①監督は当該校教員とし、監マークを左胸に付ける。
 - ②コーチは当該校教員とし、㊟マークを左胸に付ける。当該校教員以外がコーチとしてベンチ入りする場合は、事前に県中体連バレーボール部より、事前に外部コーチの承認証を取得しておき、大会申込書に承認番号を記入しておく。当日、外部コーチとわかるマークを左胸に付けるか、首にかけておく。承認証は持参しておくこと。
 - ③マネージャーは、生徒のみとする。㊿のマークは付けない。
 - ④学校職員（校長・教頭等）がベンチ入りする場合は、㊿のマークを左胸に付ける。
- (2) エントリー変更は、開始式後、会場の競技責任者にエントリー変更届（競技要項 P 44 に記載・ホームページからダウンロード）を提出する。
- (3) 監督・コーチ（外部コーチを含む）の服装については、シャツとズボンの色等が統一されていることが望ましい。但し、マネージャーは学校のジャージを着用すること。

3. 競技規則及び競技方法・試合順等について

- (1) 日本バレーボール協会規則及び関東中体連バレーボール部規約による。
- (2) 試合順については、別紙「組み合わせ」の通りとする。
- (3) 背番号は、原則として「1～15」とする。（できれば「1～12」）
【注 1】ユニフォームからはみ出すパワーパンツの着用及びユニフォームの上からのプロテクターの使用は禁止とする。スニーカーソックスは認めない。
【注 2】チームスタッフは必ず長いジャージ等のズボンとする。首にタオルを掛けることはないように。
【注 3】ベンチ入りをするが登録外のメンバーについては、ユニフォームは他の選手と同じものを着用する。（リベロと同じものは認められない。）
- (4) 監督、キャプテンは、試合前、記録用紙にサインをする。
- (5) リベロは、ゲームキャプテンにも、チームキャプテンにもなれない。
- (6) 監督は、記録席に最も近い席に位置すること。
- (7) 一度、提出されたラインナップは、変更・訂正できない。
- (8) リベロの交代は、アタックラインとエンドラインの間のサイドライン上で行う。なお、その際には止まって手を挙げる。
- (9) ゲーム開始及び終了時の整列・あいさつ・握手はオーダー用紙に記入された 12 名の選手で行う。
- (10) 前のゲーム終了、10 分後に次の試合のプロトコルを行う。その後、公式練習へ。
試合が連続する場合は、前のゲーム終了、20 分後に次の試合のプロトコルを行う。その後、公式練習へ。
- (11) 練習場所については、会場使用上の諸注意に従うこと。
- (12) ワイピングについては各チームで行うこと。ゲーム中は、各自タオルを準備しておく。
- (13) 藤岡西中、箕郷中、ヤマト市民体育館については、開場時刻を 8 : 00 とする。開始式を 9 : 00 から行い、試合開始は 9 : 30 とする。
安中総合体育館、藤岡市民体育館、榛名体育館、さわやか交流館、群馬体育館については、開場時刻を 8 : 30 とする。開始式を 9 : 30 から行い、試合開始は 10 : 00 とする。
コート設営が終了し、指示があるまではボールを使わない練習のみとする（中学校をお借りする場合、その学校の生徒が練習していても問題ない）。ただし、会場によってコート設営に時間がかかる場合は、時間をずらして行うことがあるので、その場合は指示をする。

- (14) ベンチへ、マスコット・だるま・うちわ等を持ち込まない。
- (15) ベンチへはペットボトルをタオルで巻くなど、むき出しで持ち込まないようにする。水筒やスクイズボトルであれば問題ない。
- (16) 開始式はユニフォームで参加することが望ましい。ただし閉会式はユニフォームではなくてもよい。
- (17) 大会使用球は男子（ミカサ：MVA400）、女子（モルテン：V4M5000）とする。
- (18) ハチマキ等は、ユニフォームに準ずるものとし、刺繍等の表記は学校名のみとする。
- (19) 第1日目については、第1試合の生徒役員は第2試合の両チームから4名ずつとする。第2試合以降の生徒役員はその前の試合で敗退したチームから8名とする。第2日目については、試合をしていない2チームから4名ずつとする。
- (20) 各セットにつきどちらかのチームが13点になった時点で給水タイム（30秒間）を取ることにする。その際の開始と終了の合図は審判の吹笛による。
- (21) ラインナップシートは、1セット目との変更がなくても2セット目の開始時に新たなものを副審に提出する。

4. 会場使用について

- (1) 上履きと下履きの区別を付け、下履きはシューズケース等に入れ、各自応援席で保管すること。
- (2) 応援席（卓球ができるくらいのスペースがあるところ）でブルーシート等を敷く場合は、観覧場所の確保をするために、最低でも柵から2mくらい離れた位置とすること。（保護者に事前に伝え、周知徹底すること）
- (3) ゴミは、各チームで責任を持って持ち帰り、忘れ物等をしないようにすること。
（特にテーピングの後始末やペットボトル・空き缶、弁当屋の空き箱等）
（保護者が敷地の外で喫煙した際の、灰皿代わりの物の片付け忘れに注意する。）
- (4) 選手・応援生徒・保護者の把握は、各学校の顧問が責任を持って行うこと。
（路上駐車・マナー・ゴミ等含めて）
- (5) 駐車場においては、各会場の指示に従って、路上駐車等により付近の住民に迷惑がかからないように、監督を通じて保護者に伝えておくこと。また、駐車できる数が限られているのでなるべく各チーム乗り合わせるようにする。
- (6) 各試合会場の使用上の注意や駐車場については県中体連HPを確認しておくこと。

5. その他

- (1) 各チームとも、生徒役員（記録、ラインジャッジ、点示）の仕事がきちんとできるようにしておくこと。生徒役員の仕事は、1試合を通じて、同じ生徒が行うようにすることを基本とする。もしも試合の途中（セット間など）で生徒役員が交代する場合は、交代要員も含めた全員が試合前の審判からの指導を受けること。ただし、記録を担当する生徒については交代することはできない。また、生徒役員はユニフォームを着ている登録メンバーが行うこと。
- (2) 1日目にベスト8で終えた4チームは、5～8位決定戦を2日目に準決勝・決勝と同じ会場で行うので、忘れずに参加すること。
- (3) 県大会に参加する顧問の先生は審判をする可能性もあるので、短長両方の笛を用意しておくようにお願いします。